令和９（2027）年度

医学類・高大院接続入試［特別枠］（研究医枠）

学生募集要項

（学士課程）

【医薬保健学域】
医学類

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

目　　次

■出願から入学までの日程…… 2

Ⅰ．医学類・高大院接続入試［特別枠］概要…… 3
Ⅱ．出願資格，入学者選抜方法等…… 4
Ⅲ．選抜期日・試験時間…… 7
Ⅳ．出願手続…… 7
Ⅴ．合格者発表…… 13
Ⅵ．入学手続…… 14
Ⅶ．問合せ先…… 14

共　通

■本学のアドミッション・ポリシー …… A-1
■学類等のアドミッション・ポリシー …… A-3
■金沢大学入学者選抜試験での不正行為の注意 …… A-17
■「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意点 …… A-17

■入試情報の提供
1．入試情報の提供 …… S-1
2．入学試験の個人成績の開示 …… S-1

■入学料・授業料等
1．入学料等の納入 …… S-3
2．入学料徴収猶予 …… S-4
3．授業料の納入 …… S-4
4．修学支援新制度等 …… S-5
5．奨学金 …… S-5
6．融合学域入試成績優秀者修学支援制度 …… S-7
7．本学が加入を義務付けている学生保険 …… S-7

■学生生活・個人情報
1．学生留学生宿舎 …… S-8
2．ノートパソコンの準備 …… S-8
3．保健管理センター …… S-8
4．大学院進学の奨励 …… S-9
5．個人情報の保護 …… S-9
6．申請書類等の請求及び照会先 …… S-10
7．修学関係 …… S-11

■キャンパスマップ
1．金沢大学所在地略図 …… S-12
2．金沢大学キャンパス配置図 …… S-13

本入学者選抜に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

本学の入試情報（入試日程，学生募集要項，入学者選抜方法等の変更・予告，Web 出願システム等），学生募集イベント情報（オープンキャンパス等），学域・学類の紹介等を配信しています。

ダウンロード（無料）はこちらから

■出願から入学までの日程

出　願　期　間	令和8年12月16日（水）～22日（火） ※Web出願システムは，12月9日（水）から事前登録可
受験票印刷可能日	令和9年　1月20日（水）～
選　抜　期　日	最終選考：令和9年　2月　7日（日）
合格者発表	第1次選考：令和9年　2月　5日（金） 最終選考：令和9年　2月10日（水）
入　学　手　続	令和9年　2月10日（水）～17日（水）
入　　学	令和9年　4月

不測の事態に関する情報提供等

不測の事態により，発表内容や試験時間等を変更する場合は，本学 Web サイトに随時情報を掲載しますので，出願前及び受験直前に必ず確認してください。

本学（入試情報・高大院接続）Web サイト　　本学トップページ>入試情報・高大院接続
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission

Ⅰ．医学類・高大院接続入試［特別枠］概要

本学では，医学類が求める，将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質・自主性，本質への探究心，本学における博士課程までの一貫した学修意欲について多面的・総合的に評価するため，大学入学共通テストに加え，書類審査（調査書，志願理由書，活動記録，入学意志及び進学意志確認書等），口述試験にて選抜を行う「医学類・高大院接続入試」を設けています。

また，志願者自らの意志で出願できる公募制をとり，1 校あたりの出願者数を制限しないことにより，より多くの志願者に門戸を広げています。

1. 将来，医学研究に従事する研究医の育成を目的としています。
2. 研究医枠を選択した入学者に対し，医学類独自の奨学金を給付します。
3. 入学後は Medical Research Training（MRT）プログラムに登録の上，関連する授業科目を履修し，MRT プログラムを修了する者を対象とします。卒業後は，金沢大学附属病院での臨床研修プログラムを開始の上，本学大学院医薬保健学総合研究科博士課程（医学専攻）または先進予防医学研究科博士課程（先進予防医学共同専攻）に入学し，博士の学位を取得後も引き続き本学の医学系において医学研究に携わります。

本学のWebサイトに掲載しています。

Medical Research Training（MRT）プログラム
（https://mrt.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html）

金沢大学附属病院 臨床研修プログラム
（https://sotsuken.w3.kanazawa-u.ac.jp/junior）

■医学類・高大院接続入試入学者への修学支援制度

医学類・高大院接続入試にて入学した学生の修学を経済的に支援する制度です。
給付年額：12万円
給付年数：6年間
申請方法等：修学支援の申請については，合格後，合格者本人へ直接連絡します。

Ⅱ．出願資格，入学者選抜方法等

医薬保健学域　医学類

募集人員	2人
出願資格	本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し，合格した場合には入学することを確約できる者で，次の1から4のいずれかに該当するもの 1．高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者 2．通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者 3．学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4．学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により，本学において，個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和9年3月31日までに18歳に達するもの
出願要件	次のすべてを満たすもの 1．令和9年度大学入学共通テストで次頁の教科・科目を受験すること 2．本学大学院医薬保健学総合研究科博士課程（医学専攻）または先進予防医学研究科博士課程（先進予防医学共同専攻）までの一貫した教育を受け，博士の学位を取得し，その後も本学の医学系において医学研究に携わることを父母等の同意の上確約できる者であること ※本学に入学後，Medical Research Training（MRT）プログラムを修了し，卒業後は，金沢大学附属病院での臨床研修プログラムを開始すること（臨床研修プログラム所属中の大学院博士課程進学も可）
選抜方法	1．選抜は，第1次選考及び最終選考により行います。 2．第1次選考 第1次選考は，すべての志願者を対象に以下のとおり実施します。 なお，志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には，大学入学共通テストの得点をもとに，出願書類（調査書，志願理由書，活動記録，入学意志及び進学意志確認書等）の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるように選考します。 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，出願書類，大学入学共通テストの得点により，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。 大学入学共通テストは，本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点が，概ね722.5点（85％）以上（ただし，平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 3．最終選考 第1次選考の合格者に対し，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，出願書類，大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い，「研究心」，「生命科学と人類の幸福に対する志，体験，資質等」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等	教科等	科目名等
国	『国語』	その他	口述試験
地歴	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，		
公民	『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』		
	} から1		
数	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』		
理	『物理』と『化学』		
外	『英語』		
情	『情報Ⅰ』		
	〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50			850（注）
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	200
計								200		200

（注）大学入学共通テストは第1次選考として利用する他，口述試験の参考として利用します。

【出願資格に係る注意事項】

1．出願資格 4．により出願する場合は，出願に先立ち「金沢大学入学資格審査申請要領」により入学資格審査を行いますので，**令和8年11月20日（金）**までに郵送にて申請してください。

申請先　金沢大学学務部入試課入学試験係（14ページ　Ⅶ．問合せ先を参照）

「金沢大学入学資格審査申請要領」は，本学Webサイトを確認してください。
本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞金沢大学入学資格審査
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-sinsa

2．学校長の推薦は不要です。

学校教育法施行規則第 150 条第 4 号の規定により，グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際 A レベル）資格取得者は，本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については，次のとおりです。

※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし，「数学」1科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含む。

〔参考〕学校教育法施行規則第150条

学校教育法第 90 条第 1 項の規定により，大学入学に関し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

1　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
3　専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
4　文部科学大臣の指定した者
5　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
5-2　学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって，高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
6　学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって，当該者をその後に入学させる大学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
7　大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

【注意事項】

1．大学入学共通テスト

(1) 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
ただし，「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合は，受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。
（「地理歴史」「公民」の試験時間において 2 科目を選択する場合，解答順に前半に受験した科目を第 1 解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

(2)『地理総合 / 歴史総合 / 公共』を選択する場合は，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，2出題範囲を選択する必要があります。なお，「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は，「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。

(3)「数学」及び「理科」については，2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
(4)『英語』（200点満点）の成績は，リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
(5)『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については，『英語』のリーディングテスト（100 点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
(6)『英語』については，英語外部試験を利用できます。詳細は以下の「英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても，大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2．その他
(1) **大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で，医学類が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。**
(2)「大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等」の配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。
(3) 医学類・高大院接続入試に合格しなかったもののうち，一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験したもので，所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
(4) **原則として，入学後の転学類は認めません。**

〔英語外部試験〕

英語外部試験を利用する場合は，出願時に英語外部試験のスコアを提出する必要があります。

(1) 英語外部試験のスコア提出における注意事項

出願時にスコアの写しを必ず提出してください。原本を提出した場合は返却しません。

また，令和６（2024）年４月以降に取得したスコアが有効です。ただし，本学選抜期日において，各英語外部試験実施団体が定める有効期限を過ぎたスコアは利用できません。

英語外部試験	提出時の注意事項
ケンブリッジ英語検定	成績確認 Web サイトから本学を試験結果の共有先に指定してください。
ケンブリッジ英語検定リンガスキル	複数回受検の平均点は認めません。Test Report に 1 受検日の Average Score のみが表示されるよう（4 技能の Test Date が同一日になるよう）に依頼してください。リンガスキルは自宅受検も対象です。
実用英語技能検定	合否にかかわらず 2 級以上の CSE スコアにて判定します。提出可能な英検の種類は，従来型，CBT，S-CBT，S-Interview で，英検 Jr. 及び英検 IBA は除きます。必ず 4 技能の CSE スコアが表示されている証明書（合格証明書若しくは試験の個人成績表）を提出してください。
GTEC（CBT）	「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出してください。
GTEC検定版（Advanced）	成績番号が記載された「検定版　受検結果表」を提出してください。受検結果表はGTEC公式サイトから取得してください。
IELTS	本学へ成績証明書を送付する手続を行ってください。 手続方法はIELTSを主催する団体により異なります。 「One Skill Retake」は認めません。
TEAP（4技能）	「OFFICIAL SCORE REPORT」を提出してください。
TOEFL iBT（Home Edition含む）	「Test Date Score」のみ認め，「My Best Score」は認めません。「Test Taker Score Report」郵送版（原本）のコピーまたは受験者のアカウントからダウンロードした「Test Taker Score Report」を印刷したものを提出してください。また，本学が指定するDIコード【8408】を選択のうえ，スコアの直送手続きを行ってください。

(2) 大学入学共通テストの『英語』での英語外部試験の利用

英語外部試験で一定以上のスコアの場合に，スコアの提出を認めます。

これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い，大学入学共通テストの『英語』の得点と比較して高得点の方を利用します。

なお，英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても，大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

利用できる英語外部試験	本学が求める一定以上のスコア
ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）	140
実用英語技能検定	1950
GTEC（CBT）	960
GTEC検定版（Advanced）	960
IELTS	4.0
TEAP（4 技能）	225
TOEFL iBT（Home Edition含む）	42

Ⅲ．選抜期日・試験時間

令和9年2月7日（日） 口述試験 9：00～

（注）試験会場等の確認方法は，受験票に記載しますので，受験票印刷後，確認してください。

Ⅳ．出願手続

本学の出願は，Web出願限定です。学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。

1．出願方法

Web出願の流れ



(1) Web出願システム

Web出願システムへは，本学（入試情報・高大院接続）Webサイトからアクセスできます。

本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞Web出願
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry

(2) 出願書類の送付先

金沢大学学務部入試課入学試験係（14ページ Ⅶ．問合せ先を参照）

〈注意〉
Web 出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは，完了しません。出願期間内に，証明写真のアップロード及び8～11 ページ「3. 出願書類等」の郵送（出願期間内に必着）を済ませ，内容に不備がなかった場合，出願完了とします。

〔出願に当たっての注意事項〕

①**検定料の支払後は，登録内容を一切変更できないので，十分ご注意ください。**
また，登録したメールアドレスは，入学手続の案内など，本学からの重要な連絡に使用しますので，入学手続開始までの期間，確実に受信できるようにしてください。

②他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。）・学部等の総合型選抜，学校推薦型選抜合格者は，本学を受験しても入学許可は得られません。ただし，総合型選抜，学校推薦型選抜に合格した大学，学部等の定める入学辞退手続により入学辞退し，その許可を得た者を除きます。

③出願書類等に不備がある場合は，受理しません。

④出願書類等受理後は，いかなる理由があっても書類の返却，記載事項の変更には応じません。

⑤**出願書類等に不正な事実があった場合は，合格後であっても合格あるいは入学許可を取り消します。なお，本学において入学許可の取消しを受けた者は，取消し後に実施する本学の全ての選抜又は選考に出願することができません。**

⑥提出書類等と現在（出願時）の氏名等が相違している場合，改姓・改名等した（する）旨を記した書類（戸籍抄本等）を提出してください。

2. 出願期間

令和8年12月16日（水）～22日（火）（必着）

（Web出願システムは，令和8年12月9日（水）9：00から事前登録可能）

出願書類は郵送（書留速達郵便に限る）するものとし，**令和8年12月22日（火）までの必着**とします。

※ただし，出願期間後に到着した出願書類のうち，**令和８年 12 月 19 日（土）までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。**

3. 出願書類等

(1) Web出願システムで登録作業が必要なもの

出願情報の登録 証明写真データ	出願の際に登録するメールアドレスは，入学手続の案内など，本学からの重要な連絡に使用しますので，確実に受信できるようにしてください。 Web 出願システムで登録及び検定料支払後，登録完了メールに記載の URL から，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 （注）志願者本人と判別できるもので，**カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近３か月以内に撮影**した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。なお，写真の加工は認めません。
大学入学共通テスト 成績請求情報の提供手続	本学 Web 出願システムの「申し込み確認」から，共通テスト成績請求情報の提供手続を行ってください。 Web出願システムに表示されたカナ氏名が志願者本人であることを確認し，大学入学共通テスト出願サイト「ユーザID（メールアドレス)」，「パスワード」及び「大学入学共通テスト申込番号」を入力し，「登録」ボタンをクリックしてください。「登録」ボタンを押すことで，大学入試センターに志願者情報が連携されます。登録が完了した場合は「共通テスト成績請求情報の提供手続完了」画面が表示され，大学入学共通テスト成績請求番号が表示されます。 本選抜における成績請求情報の提供区分は，「国公立総合型選抜用」です。

(2) Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

出願確認票（提出用）	**Web 出願システムで登録後，申込確認ページから A4 サイズでカラー印刷**し，提出してください。 （注）出願確認票は，検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので，注意してください。
宛名ラベル	**Web 出願システムで登録後，申込確認ページから A4 サイズでカラー印刷**したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 （注）封筒は，**市販の角形２号封筒（240mm × 332mm）**を使用し，書留速達で郵送してください。

(3) その他必要な提出書類

調査書	**1. 高等学校若しくは中等教育学校卒業（卒業見込み）の者** (1) 文部科学省所定の様式により**出身学校長が作成し厳封**したもの (2) 指導要録等の保存期間が経過した者，又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は次のとおりにしてください。 ①卒業後５年を経過した場合 卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類（単位修得証明書等） ②卒業後20年を経過した場合 卒業証明書，成績通信簿（原本），その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類 これらの書類が提出できない場合は，出身高等学校を所管する教育委員会，知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書 ③廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書，成績通信簿（原本），その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会，知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書 ※成績通信簿（原本）を提出する場合は，後日返却しますので，切手（簡易書留料金）を貼付した郵便番号・住所・氏名を記入済みの返信用封筒（市販のもので可）を同封してください。 **2. その他の者** 以下（1）～（8）いずれかの書類を提出してください。 (1) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験含む）の合格者は，合格した科目の成績が記載された**合格成績証明書**をもって調査書に代えてください。なお，高等学校等において科目を修得したことにより，高等学校卒業程度認定の受験科目（大学入学資格検定の受験科目含む）を一部免除された場合は，その免除された科目の高等学校等の**成績証明書又は調査書（出身学校長が作成し，厳封したもの）**を併せて提出してください。 (2) 高等専門学校第３学年修了（修了見込み）の者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した（修了見込み）者は，出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。 (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについては，教育課程等を修了（見込み）の者にあっては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を，検定等に合格した者にあっては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。 (4) 国際バカロレア資格取得者，アビトゥア資格取得者，フランス共和国のバカロレア資格取得者，ヨーロピアン・バカロレア資格取得者は，資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。 (5) GCE Aレベル及び国際Aレベル資格取得者は成績評価証明書を提出してください。 本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については，５ページを確認してください。 (6) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了（見込み）者は，当該課程の修了（見込み）を証明する書類，成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体のいずれかにより認定を受けていることを証明する書類を提出してください。 (7) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は，修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。 (8) 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は，「金沢大学入学資格認定書」の写しを提出してください。

志願理由書（様式11）	本学（入試情報・高大院接続）Web サイトから Word 様式をダウンロードし，PC等にて作成の上，A4サイズで両面印刷後（両面が難しい場合は片面印刷可），志願者本人が自筆にて署名してください。 または，同サイトから PDF 様式をダウンロードし，A4 サイズで両面印刷後（両面が難しい場合は片面印刷可），志願者本人が自筆にて作成してください。 （詳細は，様式に記載してある記入上の注意を確認してください。）
活動記録（様式 16）及び活動等の証明書類（写し）	本学（入試情報・高大院接続）Web サイトからダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上（両面が難しい場合は片面印刷可），作成してください。 提出された活動等を証明する書類は返却できません。原本を手元に残したい場合は写しを提出してください。 記入に当たっては，「活動記録」（様式 16）に記載の「活動記録記入上の注意」に従ってください。
英語外部試験のスコアの写し（利用希望者）	英語外部試験のスコアの**写し**を提出してください。 原本を提出した場合は，返却しません。 提出書類に不正があった場合は，失格とします。また，**令和６（2024）年４月以降に取得したスコアが有効です。ただし，本学選抜期日において，各英語外部試験実施団体が定める有効期間を過ぎたスコアは利用できません。**なお，英語外部試験ごとの注意事項があるため，１～８を確認してください。 **1　ケンブリッジ英語検定** 成績確認 Web サイトから本学を試験結果の共有先に指定してください。指定していないことが判明した場合は，英語外部試験の成績を利用できません。 **2　ケンブリッジ英語検定リンガスキル** 複数回受検の平均点は認めません。Test Report に１受検日の Average Score のみが表示されるよう（４技能の Test Date が同一日になるよう）に依頼してください。リンガスキルは自宅受検も対象です。 **3　実用英語技能検定（英検）** 合否にかかわらず，２級以上の CSE スコアにて判定します。提出可能な英検の種類は，従来型，CBT，S-CBT，S-Interview で，英検 Jr.及び英検 IBA は除きます。必ず４技能の CSE スコアが表示されている証明書（合格証明書若しくは試験の個人成績表）を提出してください。デジタル証明書を利用している場合は，デジタル証明書のプレビュー画面を印刷し提出してください。 **4　GTEC（CBT）** 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出してください。 **5　GTEC 検定版（Advanced）** 成績番号が記載された**「検定版　受検結果表」**を提出してください。「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」ではありません。成績番号が記載された受検結果表はGTEC公式サイトから取得してください。 詳細は以下の「GTEC」検定版　成績連携への同意について（「成績番号」の入手方法）を参照してください。 https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/gradenumber/ **6　IELTS** IELTS を主催する団体から本学へ成績証明書を送付する手続を行ってください。手続方法は IELTS を主催する団体により異なります。送付手続を行っていないことが判明した場合は，英語外部試験の成績を利用できません。 〈送付先〉金沢大学学務部入試課 「One Skill Retake」は認めません。 **7　TEAP（4技能）** 「OFFICIAL SCORE REPORT」を提出してください。 **8　TOEFL iBT（Home Edition 含む）** 「Test Date Score」のみ認め，「My Best Score」は認めません。「Test Taker Score Report」郵送版（原本）のコピーまたは受験者のアカウントからダウンロードした「Test Taker Score Report」を印刷したものを提出してください。また，本学が指定するDIコード【8408】を選択のうえ，スコアの直送手続きを行ってください。直送手続を行っていないことが判明した場合は，英語外部試験の成績を利用できません。 ※英語外部試験の成績利用の詳細は６～７ページを確認してください。

入学意志及び進学意志確認書 （様式18）	本学（入試情報・高大院接続）Web サイトからダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上，自筆でチェック・署名をしてください。

（注）提出書類（厳封された書類は除きます）のうち，日本語又は英語以外の言語で作成されているものには，必ず日本語の訳文を添付してください。

4. 検定料の支払

（1）検定料　　17,000円

検定料の他に，Web出願システム利用に係るサービス利用料として別途880円が必要です。また，入試成績開示を希望する場合は，1回の出願につき開示請求手数料2,000円が必要です。

（2）支払期間

令和8年12月9日（水）～12月22日（火）

（3）支払方法

コンビニエンスストア（日本国内のみ），銀行ATM（ペイジーでの支払：日本国内のみ），ネットバンキング（日本国内のみ，PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）又はクレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）のいずれかで支払可能です。詳細はWeb出願システムのガイダンスページを確認してください。

（注）1. **支払いを完了すると，出願情報の修正はできません。**必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。
2. 銀行窓口での支払はできません。
3. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
4. クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。
5. 領収書が必要な場合には「コンビニエンスストア」を選択し，コンビニエンスストアが発行する領収書を利用してください。
6. **出願書類受理後は，いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。**
ただし，以下の者には返還できますので，令和9年3月31日（水）までに手続を行ってください。

返還手続対象者

・検定料の支払後，出願しなかった者
・出願受付後に出願無資格者であることが判明した者
・第1次選考不合格者

検定料返還手続方法は，以下のURLを確認してください。

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan

『自然災害により被災された志願者の皆さんへ』

金沢大学では，自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学の機会を確保するため，検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など，免除に関する詳細は，本学（入試情報・高大院接続）Web サイトを確認してください。

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan

検定料の免除を希望される方は，出願前に必ず学務部入試課までご連絡ください。
（14ページ　Ⅶ．問合せ先を参照）

5. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で，障がい等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，本学に事前相談書等を提出し，相談してください。

なお，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく，本学の教科・科目に係る個別テスト等において，「代筆解答」を必要とする者は，下記の期限にかかわらず大学入学共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また，事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も，直ちに本学へ相談してください。

(1) 事前相談期限

令和8年11月17日（火）

事前相談期限を過ぎてからの相談でも応じますが，必ずしも要望に応えることができない場合があります。

(2) 提出書類

①事前相談書（次の事項及び連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）について記載したもの。様式は問いません。）

ア　志願者氏名
イ　志望学域・学類等及び受験予定の入試区分
ウ　障がいの種類・程度
エ　受験について配慮を希望する事項
オ　修学について配慮を希望する事項
カ　高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
キ　日常生活の状況
ク　その他参考となる事項

②医師の診断書（上記ウ，エ，オ，キに関する項目も記載してください。）

③大学入学共通テストの「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テストで，受験上の配慮を認められた者のみ）

④その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(3) 相談先

金沢大学学務部入試課入学試験係（14ページ　Ⅶ．問合せ先を参照）

6. 大学入学者選抜における性別情報

大学入学共通テストと本学への出願時には，公的な統計調査等に必要な情報であるため，現時点では男女いずれかの性別の記入が必要です。本学では自認する性の記入が可能ですが，大学入学共通テストの出願書類，高等学校等が作成する調査書及び本学への出願書類等に記載の性別が一致している必要があります。

なお，合格・入学後も本学に提出する書類の中には，性別情報の記入が必要な場合がありますが，自認する性の記入が可能です（戸籍との照合や証明書等への記載は行っていません）。

7. 受験票の印刷

令和９年１月20日（水）から，Web出願システムから受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし，A4サイズで印刷してください。

(1) 受験票には，受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び２次元コードがあります。第１次選考合格者は，必ずアクセスして内容を確認の上，受験してください。

(2) 氏名等に間違いがある場合には，学務部入試課入学試験係へ連絡してください。（14ページ　Ⅶ．問合せ先を参照）

(3) **試験当日は，印刷した本学「受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。**

(4) **受験番号は，入学手続及び個人成績閲覧（出願時に成績開示を希望した場合のみ，令和９年４月30日（金）～９月30日（木））にも必要です。それまで本学「受験票」は大切に保管してください。**成績開示の詳細は，S-1～S-2ページの「2．入学試験の個人成績の開示」を確認してください。

Ⅴ．合格者発表

1．第１次選考

令和９年２月５日（金）10：00（予定）

第１次選考合格者の受験番号を本学（入試情報・高大院接続）Web サイトにおいて発表します。なお，第１次選考結果は，オンライン合否照会システムからは確認できません。また，第１次選考結果は送付しません。

電話や電子メール等による合否の照会には応じませんので，本学（入試情報・高大院接続）Web サイトから確認してください。

※アクセスが集中した場合は，本学 Web サイトに繋がらないことがあります。その場合は，一度時間をおいてから，再度アクセスしてください。

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞合格者発表
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou

第１次選考で不合格となった者は，検定料の一部返還を行いますので，令和９年３月31日（水）までに手続を行ってください。

検定料返還手続方法は，以下のURLを確認してください。

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan

2．最終選考

令和９年２月10日（水）15：00（予定）

合格者の受験番号を本学（入試情報・高大院接続）Web サイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。合格通知書は送付しませんので，必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください。なお，アクセスが集中した場合は，本学 Web サイトに繋がらないことがあります。その場合は一度時間をおいてから，再度アクセスしてください。

また，**電話やメール等による合否の照会には応じません。**

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト
本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞合格者発表
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou

オンライン合否照会システム（利用可能期間：令和９年３月31日（水）まで）
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai

3．合格しなかった場合の取扱い

合格しなかった者のうち，一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で，所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。

Ⅵ．入学手続

入学手続は，「入学手続システム」から行います。

詳細は，後日，本学 Web サイト上に掲載予定の「入学手続要項」を確認してください。**なお，入学手続要項は紙媒体（冊子）での送付は行いません。**

また，入学手続に関する連絡は，出願時に登録したメールアドレス宛に送付します。

(1) 入学手続期間

令和9年2月10日（水）～17日（水）17：00（必着）

(2) 入学手続方法

入学手続期間内に，以下の手続の完了が必要です。

①学籍関連情報の入力及び学生証用写真のアップロード

②入学料等の納入

③登録情報の確定及び必要書類の出力

④入学手続必要書類の提出

※①～③は入学手続システムから実施してください。

本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞入学手続

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/nyugakutetuzuki

(3) 留意事項

・入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

・入学手続を行った者は，入学辞退の許可を得た者を除き，本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く）の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても，その大学・学部等の合格者とはなりません。

・真にやむを得ない事情があり入学を辞退する場合は速やかに入学辞退する旨を学務部入試課へ連絡し，入学手続期間内に入学辞退願（様式は本学 Web サイトからダウンロード）を提出し，本学学長の入学辞退許可を得てください。

・入学手続の際に「国公立大学入学確認票」（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード）の提出が必要です。

Ⅶ．問合せ先

電話での問合せは，平日（月～金曜日　※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）9：00～17：00の間で本人に限ります。

また，志願者本人がこの学生募集要項を熟読し，必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

入学試験関係

入学試験に関する問合せは，下記へ行ってください。

金沢大学学務部入試課 入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	E-mail　boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話　076-264-5169　　FAX　076-234-4042

共　通

■本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1　金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久2）年，加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は，旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として，1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は，そのありうべき姿を，現在，金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち，金沢大学憲章は，その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は，本学の活動が21世紀の時代を切り拓き，世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち，『地域と世界に開かれた教育重視の研究大学』の位置付けをもって改革に取り組むこととし，その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは，以下のものに他なりません。

「金沢大学は，学生の個性と学ぶ権利を尊重し，自学自習を基本とする。また，教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して，専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

2　金沢大学ブランド人材の育成と金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）

教育の国際化とグローバル人材育成が声高に叫ばれている今，金沢大学は，上に掲げた大学憲章のもと，地域と国際，自己と他者，過去と未来，そして人間とテクノロジーの関係性という新たな軸から自らが生きる社会を考察し，多文化共生社会の実現に向けて新たな価値を創造し，表現・発信できる強靭な「金沢大学ブランド人材」の育成を目標として掲げています。そしてそれを具体化するため，本学独自の教育方針である「金沢大学〈グローバル〉スタンダード」（Kanazawa University “Global” Standard: KUGS）を定めています。これは各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる，大学全体のアドミッション・ポリシーとするものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）

グローバル化が不可逆的に進行する現在の国際社会において金沢大学憲章に謳われている基本的な教育目標を実現するために，学士課程において本学が育成する人材の具体的な姿を，以下の４つのスタンダードによって定める。すなわち本学は，各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし，知識基盤社会の中核的なリーダーとなって，常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける次の能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。

1．人とつながる・共生する：
自国の文化や歴史を深く理解しつつ，積極的に世界とつながり，異文化を受け入れて多様な人々と協力しながら，個人および地域・国際社会の健康と発展に貢献する能力を身につける。

2．自己を探究する・超越する：
自己を知り，自己の可能性に挑戦することで心身の豊かな成長を目指す。確かな論理力と豊かな表現力を駆使して他者と共感的に関わり，互いの感性，価値観，アイディアを表現し，伝え合う能力を身につける。

3．今を知る・未来を考える：
科学技術の動向，自然環境変動，持続可能性などの多角的視座から，地球と人類，国際社会と日本の未来を総合的に予測し，未来の課題に取り組んでいく能力を身につける。

4．新たな価値を創造する：
STEAM教育を基盤とし，データの的確な理解と思考の論理的構成を通して社会の課題を俯瞰し，豊富な想像力と果敢に挑戦するマインドを持って新たな価値を創造していくための能力を身につける。

本学は，この KUGS に適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく，なによりも，このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

3　金沢大学と主体性等評価

金沢大学は，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

■学類等のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

《融合学域》

あらゆる意味で社会が変容し，従来の知識，制度，方法等が国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では，人文・社会・自然等の科学分野を往還し，融合的な学知と他者との共創を通じて，社会の各界で“未踏のイノベーションの創成をリードする中核的リーダー”となる人材が不可欠です。融合学域では，そのような人材を養成することを共通の目標としています。

【先導学類】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で，表出する複層的な諸課題に関し，人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに，新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身につけた社会変革を先導する人材の養成を目指しています。

求める人材
・様々な分野の知識を学び，それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
・多様な制度・慣習等に知的関心を有し，より良い未来社会づくりに貢献したい人
・最先端の学知を連携・融合し，社会変革に資する新たな先導に挑戦したい人

【観光デザイン学類】

地球規模で急速に起こる社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で，国際観光立国を目指す我が国の観光産業の諸課題に関し，人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに，観光 DX の推進や持続可能な観光地域づくりに対応して新たな観光価値をデザインする人材の養成を目指しています。

求める人材
・様々な分野の知識を学び，それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
・多様な制度・慣習等に知的関心を有し，より良い未来社会づくりに貢献したい人
・最先端の学知を連携・融合し，観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人

【スマート創成科学類】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や技術の飛躍を的確に踏まえた上で，表出する多様な未来の諸課題に関し，人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに，仮想と現実の高度な融合を活用して持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指しています。

求める人材
・様々な分野の知識を学び，それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
・多様な制度・慣習等に知的関心を有し，より良い未来社会づくりに貢献したい人
・最先端の学知を連携・融合し，未来に資する新たな科学創成に挑戦したい人

選抜の基本方針／融合学域共通

■一般選抜
文系傾斜では，基礎学力を問うとともに，先導学類及び観光デザイン学類では英語に加え，国語，数学又は総合問題のいずれか２科目を，スマート創成科学類では数学，英語に加え，国語又は総合問題を，それぞれ課して学力を多元的に評価します。
理系傾斜では，基礎学力を問うとともに，数学，理科及び英語を課して学力を多元的に評価します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）
基礎学力に加え，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■KUGS 特別入試（デジタル人材選抜，スマート創成科学類のみ）
基礎学力に加え，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される高度情報専門人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■KUGS 特別入試（防災・復興人材選抜，観光デザイン学類のみ）
基礎学力に加え，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される防災・復興人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）
口述試験（プレゼンテーションを含む）では，多面的な質問を行い，数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■超然特別入試（超然文学選抜）
口述試験（プレゼンテーションを含む）では，多面的な質問を行い，文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■在外留学生推薦入試
口述試験（プレゼンテーションを含む）では，多面的な質問を行い，本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

■社会人選抜

口述試験（プレゼンテーションを含む）では，多面的な質問を行い，勉学意欲や学類への適性を評価し，実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

■帰国生徒選抜

国語，数学及び英語から２教科を課し，基礎学力を問うとともに，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，理解度，勉学意欲，基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，理解度，勉学意欲，基本的知識等を，多面的・総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力を重視するとともに，口述試験（プレゼンテーションを含む）では，コミュニケーション能力，勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を，多面的・総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等／融合学域共通

文系・理系にこだわらず，様々な教科・科目について偏りなく学習し，到達度をより高めておくことが必要です。

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では，人間をその行動，思想，歴史，文化，言語，文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて，人間性と社会性に富む教養と課題発見能力，社会的応用性を備えた専門的知識，的確な自己表現の能力，そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

・人間の行動，思想，歴史，文化，言語，文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち，勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
・文献読解から実験，フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び，その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
・広い視野を持ち，多様な価値観や伝統，異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
・高等学校等で学習する国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語について総合的な基礎学力を有する人
・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力，論理的思考能力，そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針／人文学類

■一般選抜

大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに，人文学類の基本的科目である国語と英語の能力，そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに，口述試験により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲・コミュニケーション力及び論理的思考能力・表現力等を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜，超然文学選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲と関心・人文学で学習を進めるのに必要な資質等を評価し，小論文により論理的思考能力・表現力を評価します。

■帰国生徒選抜

国語と外国語の試験及び口述試験により，大学での勉学に必要となる知識・表現力・意欲等を評価します。

■国際バカロレア入試

国際バカロレアのディプロマスコア及び口述試験により，大学での勉学に必要となる知識・表現力・意欲等を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本留学試験，英語外部試験及び口述試験により，大学での勉学に必要となる知識・表現力・意欲等を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び，探究する事柄は，人間に関する様々な事象が対象となりますので，高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において，法と政治に関する基本的な理念や知識は，個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では，このような認識に基づき，法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて，現代社会が抱える諸問題を発見し，将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材

・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
・国内外の社会問題に関心を持ち，よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
・論理的思考や情報分析を通じて，また，過去の歴史的経緯をふまえつつ，社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材／KUGS特別入試（総合型選抜）

・上記に加えて，コミュニケーション能力（とくに，他者の話を正確に理解し，自分の意見を論理的に述べる能力）が優れており，課題に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針／法学類

■一般選抜

基礎学力に加えて，外国語，国語及び数学の能力を重視して評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え，出願書類等を参考に口述試験を通じて，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか，自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類等を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を通じて，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか，自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

国語能力に加え，口述試験を通じて，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，などを総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，自主的に課題を発見し解決する意欲があるか，国際化に対応するために必要な表現力とコミュニケーション能力を修得してグローバルに活躍する意欲があるか，などを提出書類等及び口述試験の結果により総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

英語能力に加え，日本語又は英語による口述試験を通じて，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

・高等学校等で履修した様々な科目の内容について理解していること
・法律や裁判例の読解，政治的問題の把握，これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
・社会的・国際的諸問題の本質を探究し，その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること
・社会の数量分析や論理的思考のために必要な数学の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では，多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し，一般選抜に加えて，高等学校等で専門教育を受けた進学希望者を対象とするKUGS特別入試，及び超然特別入試・帰国生徒選抜・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と，勉学に対する強い意欲を持ち，基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

・経済学・経営学に関する体系的知識を学び，現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
・営利・非営利のビジネスに関心を持ち，将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針／経済学類

■一般選抜

基礎学力に加え，国語・数学・外国語の能力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力，論理的思考力，表現力に加え，平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力，論理的思考力，表現力に加え，平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え，社会的課題の解決に取り組む意欲等を重視します。

■帰国生徒選抜

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力，論理的思考力，表現力に加え，高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■国際バカロレア入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語の文章を理解する能力，論理的思考力，表現力に加え，社会的課題解決への意欲，国際的に活躍する熱意や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試

現代の文化・社会・経済に関する知識，論理的思考力，表現力に加え，大学の授業を理解するための基礎的知識や大学入学後の計画等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても，国際的な分野においても，人間社会で活躍するためには，国語・英語及び情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では，特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済及びそこでの日本の位置づけを理解するためには，その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには，これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり，理科を学んでおくことを望みます。

【学校教育学類共同教員養成課程】

学校教育学類共同教員養成課程（以下「学校教育学類」という。）では，義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており，専門職としての教師を目指す熱意にあふれ，仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける人材を求めます。

求める人材
- 教育を通じて，地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人
- 専門職としての教師を真摯に目指し，人を育てることの大切さと喜びを感じられる人
- 現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人
- 自己の考えをはっきりと表現し，他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて，他者と協働ができる人
- 高等学校等における履修内容を理解し，教職を目指すために必要な学力がある人

選抜の基本方針／学校教育学類

■一般選抜

基礎学力に加え，英語，国語，数学，理科，総合問題の中から，３科目を選択する教科・科目に係る個別テスト（英語と国語又は英語と数学を必修とする）を課し，多元的に評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

〈石川県みらい創生枠〉

基礎学力及び勉学意欲ならびに，教職に就き石川県能登地区の教育に貢献することへの熱意，資質・適性等を総合的に評価します。

〈教科・免許状枠〉

【美術】

基礎学力，課題に対する表現力，美術における基礎知識と論理的思考力，教職及び美術教育に対する熱意と抱負を総合的に評価します。

【保健体育】

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績，教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質等を総合的に評価します。

【家政】

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【特別支援】

基礎学力，課題に対する思考能力と論述能力，勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

〈教科枠〉

【国語・社会科・英語】

基礎学力及び勉学意欲，人文・社会科学への関心，教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【数学・理科】

基礎学力及び勉学意欲，自然科学への関心，教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【音楽】

基礎学力及び演奏技術，表現力，ソルフェージュ能力，楽典の基礎的知識，教職及び音楽に対する熱意と抱負等を総合的に評価します。

■KUGS特別入試（防災・復興人材選抜）

出願書類，高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により，防災・復興への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに，大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜，超然文学選抜）

数学又は文学を介した教育への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

学習意欲や資質，学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお，本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では，小学校教諭一種を含んだ２校種の免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから，次の３点を望みます。
- 小学校・中学校・高等学校及びそれらに相当する学校など，これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- 大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- これまでの学校経験を省察するなどして，学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は，地域の自然，文化，住環境，人材，産業，社会関係などを専門的に分析把握し，自治を活かした地域固有のスタイルで，持続可能で質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

プログラムの選択は，２年次終了までに本人の問題関心と将来像及び学業成績等考慮して決定します。

求める人材
- 大学での地域創造学の学修に必要な基礎学力を有している人
- 地域創造力を修得するために，本を読み，文章を書き，地域に出かけ，能動的に学修する努力を惜しまない人
- 誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人
- 海外の情報に積極的にアプローチしようとする意欲と能力を有している人

選抜の基本方針／地域創造学類

■一般選抜

基礎学力に加え，文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語を評価します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え，口述試験により地域創造に関わる学修への意欲や事象への関心，大学入学後の主体的な学修・研究への計画や積極性，授業を理解するための基礎的知識や思考力・判断力・表現力，大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせて総合的に評価します。

■KUGS 特別入試（防災・復興人材選抜）

基礎学力に加え，口述試験により防災・復興に関わる学修への意欲や事象への関心，大学入学後の主体的な学修・研究への計画や積極性，授業を理解するための基礎的知識や思考力・判断力・表現力，大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせて総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

国語と数学の２科目による基礎学力を問うとともに，口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い，基礎的知識，思考力・表現力，勉学意欲等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え，口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い，基礎的知識，思考力・表現力，勉学意欲等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

〈パターンＡ・Ｂ共通〉

日本留学試験，TOEFL iBTにより基礎学力を問います。口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い，基礎的知識，思考力・表現力，勉学意欲等を総合的に評価します。

〈パターンＢのみ〉

人物調書・推薦書および志願理由書を参考とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では，専門的総合的に地域創造学を学ぶことから，高等学校等で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また，地域の諸課題を調査・分析し，政策立案できる能力の修得を目指す前提として，地域社会に対して強い関心を持ち，自ら主体的に情報を集め，自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は，実践的な英語などの語学力を活用して，将来，外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人，海外の NPO，NGO で経験を積みたい人，多国籍企業で力を試したい人，外国人に日本語・日本事情を教えたい人，国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な，多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靭な知性と深い共感力，国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力，具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系，地域研究系，インクルーシブ社会構築系という３つの系に大別される複数のプログラムがあり，そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

求める人材

・多文化や多民族，及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける，探究心あふれる人
・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために，努力を惜しまない人
・探究心とコミュニケーション能力を用いて，諸問題を粘り強く話し合い，国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
・将来，国際的な場での活動への従事を目指す人
・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針／国際学類

■一般選抜

基礎学力に加え，国語・英語の学力と数学の学力又は総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。なお，大学入学共通テストの「英語」については，４技能をみる所定の英語外部試験のスコアを提出することができます。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

第１次選考では，４技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び調査書，志願理由書，活動報告書，高大接続プログラム提出課題等の書類を総合的に審査します。第２次選考では口述試験を行います。口述試験では，論理的な思考や国際コミュニケーション能力，国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお，調査書，志願理由書，活動報告書，高大接続プログラム提出課題等も口述試験の際の参考とします。

■超然特別入試（A-lympiad選抜，超然文学選抜）

出願資格及び出願要件を満たした上で，自主的に課題を発見し解決する意欲を有し，国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験（プレゼンテーションを含む）では，論理的な思考や国際コミュニケーション能力，国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお，調査書，志願理由書，活動報告書等も口述試験（プレゼンテーションを含む）の際の参考とします。

■帰国生徒選抜

第１次選考では，４技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び成績証明書（調査書），推薦書，志願理由書の書類を総合的に審査します。最終選考では口述試験を行います。口述試験では，論理的な思考や国際コミュニケーション能力，国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお，調査書，推薦書，志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■国際バカロレア入試

出願資格を満たした上で，自主的に課題を発見し解決する意欲を有し，国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験では，論理的な思考や国際コミュニケーション能力，国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお，志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■私費外国人留学生入試

口述試験では，基礎知識やコミュニケーション能力（日本語あるいは英語），勉学意欲を十分に有しているかを判断し，日本留学試験の成績や所定の英語外部試験のスコアと合わせて，総合的に判定します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では，グローバル化する世界を多様な観点から理解し，異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人の養成を目指しています。このため，本学入学前に「英語」や「政治・経済」，「世界史」，「地理」などの学習に積極的に取り組み，これらの教科の知識を獲得しておくことを望みます。また，日本に関連する様々な問題を扱うために「日本語」（国語）及び「日本史」を学んでおくことを推奨します。

《理工学域》

【数物科学類】

数学，物理学は長い歴史をもつ学問として，互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また，計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により，これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では，21 世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学，物理学を学ぶことを通じ，国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的，あるいは物理的なものの見方，思考法及び洞察力を身につけ，教育，情報・通信，製造・開発，金融をはじめ，高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

求める人材
- 数学や物理学に興味をもち，それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- 計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- 将来，数学，応用数学，計算科学，物理学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- 基礎科学をじっくりと学び，それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針／数物科学類

■一般選抜

基礎学力に加え，数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力を重視します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに，出願書類，高大接続プログラム課題等や，口述試験により，志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い，数学的に特異な才能を持ち，その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組むための能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■女子枠特別入試

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに，出願書類や口述試験により，志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え，数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに，口述試験により理解度，勉学意欲，基本的知識等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

基礎学力に加え，数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科の学力を重視するとともに，口述試験により理解度，勉学意欲，資質等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力に加え，数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び英語の語学力を重視するとともに，口述試験により日本語または英語によるコミュニケーション能力，勉学意欲，資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において，6教科8科目（数学，理科，外国語，国語，地理歴史・公民，情報）又はそれに相当する科目を学び，そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理の理解，新しい機能性物質の創製，さらに生活を支える化学製品の開発・製造から持続発展可能なエネルギー・環境技術の実現に至る幅広い領域を含んでいます。物質化学類では，現代社会の諸問題を解決できる創造力と技術力を身につけた優れた研究者・技術者を養成するためにプログラム制カリキュラムを採用しています。コアプログラムで基礎学力を修得後，主題ごとに体系化された６つのアドバンストプログラムから複数のプログラムを選択履修することで，化学の基本原理の探求と応用技術の創造に挑戦する力を身につけることができます。

“独創性や観察力など独自に考える力” をもち “未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神” の旺盛な人の入学を期待します。

求める人材
- 自然現象の観察と実験に強い興味を持ち，実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- 独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち，発見の感動を味わいたい人
- 研究を通して得た成果を世界に向けて発信し，社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針／物質化学類

■一般選抜

基礎学力に加え，物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え，出願書類，高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により，思考能力と論述能力，化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により，思考能力と論述能力，化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■女子枠特別入試

基礎学力に加え，物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視するとともに，出願書類及び口述試験により，化学分野の勉学意欲，資質，思考能力，論述能力などを評価します。

■帰国生徒選抜

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視するとともに，成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学の学力を成績評価証明書により評価するとともに，口述試験により，化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

化学及び数学の学力を重視するとともに，口述試験により，大学での授業を理解するための基礎知識，日本語または英語によるコミュニケーション能力，化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について充分に理解できていることが必要です。さらに，化学を含む理系科目（理科，数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語，外国語，社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また，高校生活の中で，日常的な科学現象に興味を持ち，それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では，技術者・研究者として，安全で安心な生活を支え，かつ，向上をもたらす様々な工業製品から，最先端技術の開発に至るまでを対象とした，先進的な設計技術，超精密加工，高度なシミュレーション技法の研究，さらに，エネルギー問題の解決に取り組み，ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために，機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ，基礎学力の上に立脚した応用能力を涵養し，先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また，自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため，倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は，物理学・数学を駆使し，原子・分子レベルから，巨大構造までを対象とした最適設計法，超精密加工技術，新素材の開発など，未知の領域に挑む分野から，環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など，自然の保護と持続に貢献する分野まで，広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- 先端機械工学への興味，モノづくりへの熱意，人間支援に対する高い志を持ち，講義，実験や実習，さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 技術倫理についての自覚を持ち，地球環境への関心が高く，グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- 独創性と創造性があり，自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針／機械工学類

機械工学類，フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は３学類一括で実施し，出願時に第３志望の学類まで選択することができます。なお，特別選抜は学類で実施します。

■一般選抜

基礎学力に加え，３学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に選択し，入試成績により，希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに，口述試験により，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，論理的思考力，表現力などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞，及び，成績証明書（調査書）による基礎学力を参考にし，口述試験（プレゼンテーションを含む）により，論理的思考力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，社会的課題の解決に取り組む意欲等を評価します。

■女子枠特別入試

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに，口述試験により，勉学意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，論理的思考力，表現力などを評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学，物理及び英語の学力を重視するとともに，成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに，口述試験により，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を評価するとともに，口述試験により，日本語または英語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学・理科・英語）について，十分理解しておくことが必要です。また，身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで，様々な事象に対して探求力を高めることを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では，機械工学，化学工学，電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して，ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き，グローバルな観点から，工学の飛躍的な発展と，近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には，ロボティクス，航空宇宙工学，高度センシング技術，ナノテクノロジー，新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から，医療福祉工学，生活支援機器，化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで，広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず，電子情報機械，人間機械，マテリアルの３つのコアプログラムと，知能機械，ヒューマンメカトロニクス，マテリアルデザインの３つの基本フロンティアプログラムに加えて，先端横断，先進物理計測の２つの副フロンティアプログラムを組み合わせて履修します。

求める人材

- ロボティクス，航空宇宙，スマートビークル，スマートセンシング，インテリジェント制御，ナノスケール計測，高分子，微粒子材料の開発など，新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- メカトロニクス，医療福祉工学，物質システムを中心とした，機械工学，電子情報工学，化学工学の分野でエンジニア，研究者，教育者の道に進みたい人
- グローバルな視点からの技術革新を通じて，次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- 人間性，独創性と創造性が豊かで，自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針／フロンティア工学類

機械工学類，フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は３学類一括で実施し，出願時に第３志望の学類まで選択することができます。なお，特別選抜は学類で実施します。

■一般選抜

基礎学力に加え，３学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に選択し，入試成績により，希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに，出願書類，高大接続プログラム課題等を参考に口述試験を行い，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，工学分野の資質，論理的思考力，表現力などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして，理数系分野の高いレベルの学力，フロンティア工学類に対する理解と勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■女子枠特別入試

大学入学共通テストで数学，理科，外国語及び情報の基礎学力を評価するとともに，口述試験により，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，工学分野の資質，論理的思考力，表現力などを評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学，物理及び英語の学力を重視するとともに，成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに，口述試験により，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を重視するとともに，口述試験により，日本語または英語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学・理科・英語）について，十分理解しておくことが必要です。また，身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで，幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は，持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は，電気エネルギー創成・変換，ナノテクノロジー，光・電子デバイス，宇宙探査，量子情報，セキュリティ，人工知能，IoT (Internet of Things)，ビッグデータ，クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の２つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し，電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材
・エネルギー，エレクトロニクス，デジタル・量子コンピューティング，情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
・科学実験やコンピュータなどに関心があり，電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
・数学が得意な人，物理学，数学の応用に積極的に取組みたい人

選抜の基本方針／電子情報通信学類

機械工学類，フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は３学類一括で実施し，出願時に第３志望の学類まで選択することができます。なお，特別選抜は学類で実施します。

■一般選抜

基礎学力に加え，３学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に選択し，入試成績により，希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

出願書類，高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により，本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに，大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■KUGS特別入試（デジタル人材選抜）

出願書類，高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価するとともに，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。デジタル人材選抜Ⅱは電子情報通信学類 情報通信コースでのみ実施します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により，本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価します。

■女子枠特別入試

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により，本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに，大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学，物理及び英語の学力を重視するとともに，成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに，口述試験により，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

英語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学の学力を重視するとともに，口述試験により，日本語または英語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目においては，理系科目及び文系科目ともに重要であるため，確実に修得しておくことを望みます。また，一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学，物理，英語）については，入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので，しっかりと学び，身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では，共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき，グローバル社会をリードする人材育成のため，われわれ人類の生存基盤となる地球，日常の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に，理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため，地球惑星科学・環境科学や環境工学，土木工学，防災工学，都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い，地域からグローバルまでさまざまな局面において，社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み，これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には，地球惑星科学，土木防災，環境都市の３つのコースがあり，各コースへの配属は２年後期開始前に本人の希望，学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材
・自然現象に対する科学的探究心のある人
・人文社会科学にも関心のある理系人間
・実験・野外調査や，ものづくり・創意工夫に興味のある人
・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
・地球惑星科学，環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
・地球・環境・都市の課題に対し，科学技術を通した社会貢献がしたい人
・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針／地球社会基盤学類

■一般選抜

基礎学力に加え，理系基礎科目である数学，理科及び英語の学力を重視します。また，理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民，及び情報を含む幅広い能力も評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストと成績証明書（調査書）により基礎学力を評価し，口述試験により，地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

■KUGS特別入試（防災・復興人材選抜）

出願書類，高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により，防災・復興への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに，大学

入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして，理数系分野及び英語の高いレベルの学力，理工学分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■女子枠特別入試

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し，口述試験により地球惑星科学若しくは社会基盤工学に対する勉学意欲及び資質を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学，理科及び英語の学力を重視します。

■国際バカロレア入試

地球惑星科学及び社会基盤工学の基礎となる数学，物理及び化学の学力を重視し，成績評価証明書等により評価します。また，口述試験により，地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

英語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学の学力を重視するとともに，口述試験により，学類での授業を理解するための基礎知識，日本語または英語によるコミュニケーション能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について，しっかりと身につけておくことが必要です。特に，理系科目である数学，理科，また英語については，応用能力を含め，しっかりと身につけておくことが必要です。また，総合的な学力を身につけるために，理系のみならず，人文社会系や情報の科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は 21 世紀の最重要キーワードといわれており，様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では，生命に関する真理の探求を目指す生命科学，産業応用と技術開発を目指すバイオ工学，それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から，グローバル社会を牽引する研究者，技術者，さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では，新分野を切り開く学術的探究心に富み，理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生物科学，海洋生物資源，バイオ工学の 3 つのコースがあります。また，各コースへの所属は，2 年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- 生命現象に対して興味を持ち，理科系科目が得意で，実験や野外調査が好きな人
- 日本海や世界の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- 基礎生物学，分子生物学，進化生物学，生態学，システム生物学，遺伝子工学，バイオ工学，バイオリファイナリー，生命情報学，環境科学，多様性生物学，海洋生物学，保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- 生命科学やバイオ工学の分野で，新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- 理学と工学の基礎知識を備えて，グローバル社会をリードし，生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針／生命理工学類

■一般選抜

基礎学力に加え，生命科学の基本的科目である数学，理科，外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え，国語や地理歴史・公民，及び情報を含む幅広い能力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え，高等学校等での課題研究や自主的な取り組みでの成果や，生物科学コースでは「動物・植物・微生物やそれらを構成する細胞・生体分子を対象とした細胞生物学，分子生物学，進化生物学，発生生物学，生化学など」への関心，海洋生物資源コースでは「海洋生物資源学，水産増養殖学，魚類生理学，生態学，保全生物学，環境学など」への関心を評価します。評価に当たっては，出願書類や口述試験（プレゼンテーションを含む）を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い，特定の分野における傑出した能力，社会的課題の解決に取り組む意欲，生命科学の基礎研究若しくは応用研究への関心などを評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え，数学，理科，英語の学力を評価します。加えて，成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価します。

■国際バカロレア入試

生命理工学にとっての基礎となる数学・理科の学力を成績評価証明書により評価するとともに，口述試験により，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

数学，理科，英語の学力を評価します。口述試験では，学類での授業を理解するための基礎知識や勉学意欲，コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について，しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学，理科，英語については，応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また，自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は，学校教育法に基づく大学における医学の正規の課程に相当し，卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ，合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で，医学類では，社会の変化に適応しつつ，多様かつ高度な医療ニーズに応え，プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し，知識や技能の習得能力，論理的及び倫理的な思考力，協調性を有する人材を求めて選抜を行います。
なお，外国人留学生については，医師国家試験が日本語で行われる関係上，相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針／医学類

選抜の方法としては筆記試験，口述試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため，高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と，単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり，偏りなく身につけておくことが望まれますが，特に理数系科目に重点を置き，筆記試験においてその能力を測ります。また，自己表現能力，課外活動（ボランティア，部活動，生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性），やり遂げる力（継続力）等を口述試験で評価します。

加えて，将来，石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材養成を目的とする学校推薦型選抜の特別枠では，石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

また，同じく地域医療に従事する人材養成を目的とする総合型選抜の地元育成枠では，高等学校等卒業後 2 年以内までの受験を可能とし，北陸の地域医療に貢献する意思を持った者を対象とします。

次いで，研究志向の高い人材を選抜・養成することを目的とする医学類・高大院接続入試の研究医枠では，医学研究を推進する高い志を持った者を対象とします。

■一般選抜，■KUGS 特別入試（総合型選抜），（学校推薦型選抜），■超然特別入試（A-lympiad選抜），■医学類・高大院接続入試，■帰国生徒選抜，■私費外国人留学生入試

【薬学類】

薬学類は，人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し，持続可能社会の実現に貢献する多様な「薬（くすり）専門人」の養成を基本理念とし，以下のような人材の養成を目指します。第一に，次代の薬学教育・薬学研究を担う，博士（薬学）の学位と薬剤師資格を併せ持つ「大学教員」，がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで，革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等，薬学高度専門人材の養成を本学類の使命として特に重視します。第二に，超高齢社会，超過疎化，情報通信技術革新，国際化など，時代の急速な変化に対応して，人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる多様な「薬学プロ人材」を養成します。第三に，薬学の知識のみならず多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき，問題解決能力を身につけた「主導的薬剤師」を養成します。

一般選抜の入学者は，基礎・専門科目やキャリア形成科目群の学修を通して，自らの適性と使命を見極めた上で進路を決定していく教育システムを取っていますが，中でも本学類では大学院博士課程（4 年制）への進学を強く推奨します。薬学類・高大院接続入試の入学者には，大学院博士課程修了までの一貫した教育を導入しています。

求める人材／薬学類共通

・十分な基礎学力を備えている人
・健康や医療に関する諸課題に挑戦し，持続可能社会の実現に貢献したい人
・国内外の大学において，健康増進や医療の進歩につながる学術研究を推進するとともに，次代の薬学教育を担う大学教員を目指す人
・国内外の研究機関において，革新的医薬品の創出に資する先進的な基礎研究に携わる薬学研究者を目指す人
・薬剤師資格を持ち，他の専門性も身につけた「薬学プロ人材」として，国内外の幅広い健康・医療分野で活躍することを目指す人
・高いレベルの臨床能力と研究能力を有し，医師，看護師等の医療従事者と連携しながら，患者を主体とした質の高い医療を提供するとともに，薬剤師を統率する主導的薬剤師（基幹病院の薬剤部長等）を目指す人

求める人材／薬学類・高大院接続入試

・上記に加えて，薬学や健康・医療に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲が高く，大学院医薬保健学総合研究科・薬学専攻博士課程（4 年制）まで進学し，将来，国公立・私立大学の薬学関連の教員・研究者として，世界をリードする最先端研究を行いながら，次代の人材育成に積極的に取り組むことを目指す人

選抜の基本方針／薬学類

■一般選抜

高等学校等での高いレベルの基礎学力と，特に理数英科目における秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

■薬学類・高大院接続入試

知識・技能に加え，思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価し，特に以下の (1) ～ (4) を重視します。(1) は書類審査及び大学入学共通テストの得点，(2) ～ (4) は書類審査，小論文及び口述試験で評価を行い，薬学類・高大院接続入試で求める人材であるかどうか，総合的に判断します。

(1) 必要な基礎学力を備えているか
(2) 将来への目的意識が明確で，そこへ向かう意欲・資質を有するか
(3) 本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち，自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
(4) 本学における博士課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■帰国生徒選抜

授業を理解するための高い学力を個別試験により，素質・適性・学力を口述試験により評価します。

■国際バカロレア入試

素質・適性・高いレベルの基礎学力，特に理数科目における秀でた学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により，素質・適性・学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について，しっかり理解できていることを求めます。特に，理数科目と英語の高い基礎学力と理解力が必須です。また，人類が抱える健康や医療に関わる諸課題について，日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【医薬科学類】

医薬科学類は，次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。本学類には，生命医科学と創薬科学の２つのコースがあり，１年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後，コースに分かれて各専門性を深化させ，大学院博士前期・後期課程に進学して，医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。生命医科学コースでは，薬学の基礎的知識も備えた，基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を，創薬科学コースでは，医学の基礎的知識も備えた，基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。各コースへの配属は，２年進級時に本人の希望，学業成績等を考慮のうえ決定します。

本学類では，以下に示す人材を広く求め，特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて，将来，世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。

求める人材

・十分な基礎学力を備えている人
・基礎医学及び基礎薬学を広く学び，生命医科学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人
・将来，次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人

選抜の基本方針／医薬科学類

■一般選抜

高等学校等で学ぶ教科全般についての基礎的知識と，特に数学，理科及び英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し，出願書類及び高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により生命医科学・創薬科学研究への意欲・資質を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして，理数系分野及び英語の高いレベルの学力，医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

学類での授業を理解するための学力を教科・科目に係る個別テストにより評価し，理数系分野の知識，医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■国際バカロレア入試

数学，理科の学力を成績評価証明書により評価し，理数系分野の知識及び英語の高いレベルの学力，日本語によるコミュニケーション能力，医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え，数学，理科及び英語の学力を重視するとともに，学類での授業を理解するための学力を教科・科目に係る個別テストにより評価し，理数系分野の知識，日本語によるコミュニケーション能力，医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について，しっかり理解できていることを求めます。特に，理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また，先進的な医療や医薬品に関して，日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【保健学類】

保健学類は，「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し，豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し，国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は，1）現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成，2）日本語・外国語による討議・発表能力の育成，3）保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得，4）保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成，5）豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養，6）学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では，国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており，このため募集単位は看護学専攻，診療放射線技術学専攻，医療検査技術学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻の５専攻とします。

【看護学専攻】

看護学は，人間の誕生から死までを包括的に捉え，人々が，グローバル化する社会，多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では，健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに，学内及び学外の医療，保健及び福祉現場での実習を通じて，高い倫理観，専門職としての使命感，医療チームの一員としての責任を学びます。また，研究やゼミを通し，将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識，問題解決方法などを学び，将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に，看護実践力のある指導者，教育者，研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には，看護師，保健師*の国家試験受験資格を取得することができます。

*保健師課程は，選択制です。保健師として将来就職を希望する学生（最大 40 名）で，所定の科目を履修し，その単位を修得した者のみが，卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【診療放射線技術学専攻】
診療放射線技術学は，放射線，磁気，超音波を使用した医療機器の原理や特性，情報処理技術，各種の医療画像形成法，人体の形態，機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに，医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また，研究室配属を通じて，将来の診療放射線技術学を担う課題探求能力や，研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には，診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【医療検査技術学専攻】
医療検査技術学は，主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し，医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また，研究室配属を通じて，進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】
理学療法学は，リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより，神経，筋，骨格，循環器，呼吸器などの機能が低下したり損傷を受けた人に対して，運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では，理学療法士となるために必要な治療技術を科学的，実践的に修得するとともに，医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には，理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】
作業療法士として必要な知識，技術，コミュニケーション能力を修得し，専門職としての能力を高め，研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ，生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し，研究を進め，技術を開発し，社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には，作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】
・看護の専門技術や知識を高めて，社会に貢献する意欲を持つ人
・病める人に対する医療のために，情熱を燃やすことのできる人
・人間の健康，医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
・保健の分野で，新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
・看護学及び看護の進歩のために，将来のリーダーとなる夢を持つ人

【診療放射線技術学専攻】
・診療放射線技師として保健医療を支える意欲のある人
・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【医療検査技術学専攻】
・病める人に対する医療のために，知識や専門技術を高めて，社会に貢献する情熱を持つ人
・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
・臨床検査技術の進歩に貢献し，将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】
・豊かな人間性と愛情を持ち，学習意欲の高い人
・社会のニーズに応え，努力を惜しまない人
・理学療法学の今後を担い，人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】
・たゆまず努力して，自分の能力を高めようとする人
・専門技術や知識を高めて，社会に貢献する意欲を持つ人
・病める人に対する医療のために，情熱を燃やすことのできる人
・人間の新たな能力を引き出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針／保健学類

■一般選抜
基礎学力に加え，看護学・診療放射線技術学・医療検査技術学の３専攻は数学・理科及び英語の学力，理学療法学・作業療法学の２専攻は理科及び英語の学力を重視します。なお，理学療法学・作業療法学は２専攻併願で実施し，出願時に第２志望の専攻まで選択することができます。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）
基礎学力に加え，口述試験で医療人としての適性の評価並びに調査書等の出願書類による総合評価をします。

■KUGS特別入試（防災・復興人材選抜）
大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに，口述試験により医療人としての資質や適性及び本学類で実施される防災・復興人材育成への明確な志向等を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）
「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書等を参考にして，理数系分野及び英語の高いレベルの学力，保健・医療・福祉分野の勉学意欲，医療人としての適性及び資質等を口述試験によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜
理科と英語の学力に加え，成績証明書（調査書）による総合評価をします。

■国際バカロレア入試
口述試験により理系能力及び医療人としての適性の評価並びに提出書類（志願理由書）等による総合評価をします。

■私費外国人留学生入試

教科・科目に係る個別テストにより本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し，口述試験を通じて，志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む），本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため，文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【診療放射線技術学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり，理科・数学を学んでおくことを望みます。また，文章を正確に読解し，事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【医療検査技術学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には，数学，物理，化学及び生物学の考え方や知識が必要で，高等学校等においてこれらの教科の履修を望みます。また，情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校等までに学ぶ国語，社会，数学，理科，英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

《一括入試》

【文系一括，理系一括】

金沢大学では，「専門知識と課題探求能力，そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では，地域と国際，自己と他者，過去と未来，そして人間とテクノロジーの関係性という新たな軸から自らが生きる社会を考察し，多文化共生社会の実現に向けて新たな価値を創造し表現・発信できる強靭な人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は，上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ，入学後の学修，研究に必要な基礎学力を有し，さらに豊かな教養の涵養，高い専門性の修習を目指す人が入学することを期待します。

特に文系一括，理系一括入試においては，様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち，幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり，かつ，積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

一括入試で入学した学生は，総合教育部に１年間所属し，文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を，理系の場合は自然科学に関する分野を広く学び，２年進級時に，本人の志望，学業成績等を考慮の上，文系の場合は融合学域又は人間社会学域の中から，理系の場合は融合学域，理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類，保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

求める人材

- 多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- 幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- 積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- リーダーシップと協調性を持つ，あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- 意思決定に伴う責任を自覚した上で，客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

選抜の基本方針／文系一括，理系一括

■一般選抜

文系一括入試では，基礎学力に加え，英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

理系一括入試では，数学及び英語の基礎学力に加え，物理又は化学の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。

■金沢大学入学者選抜試験での不正行為の注意

1．本学入学者選抜試験において，次の行為は不正行為とし，受験者は入学試験において失格とします。

(1) 他人に自分の身代わりとして試験を受けさせること，及び自分が他人の身代わりとして試験を受けること。
(2) 出願確認票，答案用紙へ故意に虚偽の入力や記入をすること。
(3) 「解答はじめ」の指示の前に，問題冊子を開くこと，及び解答を始めること。
(4) カンニングをすること（カンニングペーパーを持ち込むこと，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わること，答案を交換することなど），カンニングの手助けをすること，及び他の受験者に答えを教えること。
(5) 試験時間中に，配付した問題冊子，下書き用紙及び答案用紙を試験室から持ち出すこと。
(6) 試験時間中に，「各入学者選抜試験の**受験上の注意**」において許可されていないものを使用すること。
(7) 試験時間中，及び口述試験開始前の口述試験控室等において，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラスなど），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン及び音楽プレーヤー等の電子機器類の電源を切ってかばん等にしまわず，使用すること，及び所持すること（机や椅子の上に置く，机の中に入れるなどを含む）。なお，イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。
(8) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを置かずに解答を続けること。
(9) 口述試験において，試験前に試験が終了した他の受験者から試験に関する情報を得ること，及び試験後にこれから試験を受ける他の受験者へ試験に関する情報を与えること。

2．上記 1 以外にも次のことを不正行為とみなすことがあります。指示等に従わず，不正行為と認定した場合にも，1 の場合と同様に受験者は入学者選抜試験において，失格とします。

(1) 上記 1（7）のほか，アラームの設定を解除せず試験時間中に音（着信音，アラーム，振動音など）を鳴らす等，試験の進行に影響を与えること。
(2) 試験場において，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出や隠ぺいを行うこと，及び他の受験者への迷惑又は本学の円滑な試験実施の支障となる恐れのある行為をすること。
(3) 試験場において，試験監督者及び本学教職員等の指示に従わないこと。
(4) その他，試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

3．本学に提出した書類，資料，その他の提供した情報等に不正があったことが判明した場合又は上記の入学試験での不正行為が判明した場合は，合格後であっても合格あるいは入学許可を取り消します。
また，入学後であっても本学の規程等に基づき入学許可を取り消します。

4．不正行為が発覚すれば，警察に被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

■「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意点

こども性暴力防止法の施行により，令和８年 12 月 25 日から，学校や保育所，学習塾など，こどもに対して教育・保育などを行う事業者には，性暴力を防ぐための取組が求められます。

教育実習等の実習生についても性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので，留意点をお知らせします。

以下の内容をご理解いただいた上で，出願をご検討ください。

【教育職員免許状・公認心理師受験資格の取得を希望される方へ】

本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞受験する皆さんへ＞「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意事項

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/forexaminees

■入試情報の提供

1．入試情報の提供

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト

本学トップページ＞入試情報・高大院接続
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission

内　　容		期　　間
出願状況（学域・学類等の志願者数及び倍率）		受験票印刷可能日から令和9（2027）年3月31日（水）
合格者（受験番号）※1	第1次選考	発表日から一週間程度
	最終選考	発表日から令和9（2027）年3月31日（水）
令和9（2027）年度 入学者選抜試験実施結果 志願者，受験者，合格者及び入学者数 合格者の最高・最低点及び平均点※2		令和9（2027）年4月14日（水）～令和10（2028）年3月31日（金）

※1　本学（入試情報・高大院接続）Webサイトに掲載する期間を示します。
※2　募集人員又は合格者が10名未満の学域・学類等については，開示しません。

2．入学試験の個人成績の開示

出願時に成績開示を希望した者は，Webサイト上の「個人成績開示システム」から令和9（2027）年度入試の個人成績が閲覧できます。

（1）請求方法

① 成績開示を希望する志願者は，Web出願登録の際に，試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール，電話等による個別の開示請求は受け付けません。
② 「希望する」を選択した場合，**1回の出願につき開示請求手数料2,000円が別途必要**です。検定料と併せて支払ってください。

（2）開示内容

① 本学が利用した大学入学共通テストの科目ごとの得点及び合計点（大学入学共通テストを課す入試のみ）
② 教科・科目に係る個別テスト等の科目ごとの得点及び合計点

（3）開示時期

令和9（2027）年4月30日（金）～9月30日（木）

（注）1．**閲覧するには，「受験番号」・「生年月日」・Web出願登録時の「セキュリティコード」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので，受験番号及びセキュリティコードの管理には注意してください。**
2．万が一，セキュリティコードがわからなくなった場合には，登録したメールアドレス宛に通知を受けることができます。**必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。**

(4) 閲覧方法

① 本学Webサイトの入試情報・高大院接続のページから個人成績開示システムへ進んでください。

本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞入学試験の個人成績開示
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/seisekikaiji

② 「受験番号」・「生年月日」・Web 出願登録時の「セキュリティコード（パスワード)」を入力すると閲覧できます。

(5) 閲覧上の注意

① 開示内容は，大学入学共通テストと本学教科・科目に係る個別テスト等における受験教科・科目と得点のみで，順位は表示しません。

② 主体性等評価の得点は該当者にのみ開示しますが，本学が別に公開する「合格者の最高・最低・平均点」にはこれを含まないので，閲覧時には十分留意してください。

③ 「合格者の最高・最低・平均点」は，募集人員又は合格者が 10 名未満の学域・学類等については，開示しません。

■入学料・授業料等

1．入学料等の納入

(1) 入学料等

入学手続は，Web サイト上の「入学手続システム」から行います。詳細は，後日公表する入学手続要項を確認してください。

入学手続システムから，入学料，学生保険料，同窓会費等を納入してください。

項　目	注　意　事　項　等
入学料	282,000円（予定） （注）修学支援新制度の利用として日本学生支援機構の給付奨学金（多子世帯対象の入学料・授業料免除も含まれます。）に高校等在学中に予約採用された方若しくは本学入学後に申請される方，又は本学独自の入学料免除（徴収猶予）制度に申請される方は，申請結果の正式通知まで徴収を猶予します。
学生保険料 ※学生教育研究災害傷害保険（学研災） ※学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責） ※外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）	本学では学生保険の加入を義務付けています。 入学料等支払手続に表示される所属学類等の保険料額を支払いください。 詳細は入学手続要項及び以下のWebサイトを確認してください。 https：//www.kanazawa-u.ac.jp/students/livelihood/gakuseihoken/ （注）入学料の免除（徴収猶予）を申請した場合でも学生保険料の支払いは必要です。
同窓会費等	金沢大学学友会及び学部等同窓会は入学者全員の加入をお願いしています。 詳細は以下のWebサイトを確認してください。 https：//www.kanazawa-u.ac.jp/alumni/alumni/ （注）学籍関連情報で「同意しない」を選択した場合は，同窓会費の支払いは不要です。

（注）上記金額は予定額であり，入学時に入学料を改定した場合には，改定後の新入学料を適用します。

(2) 入学料等の納入方法

コンビニエンスストア（日本国内のみ），銀行 ATM（ペイジーでの支払：日本国内のみ），ネットバンキング（日本国内のみ，PayPay銀行及びセブン銀行の２行は利用できません。）又はクレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）のいずれかで支払い可能です。詳細は入学手続システムのガイダンスページを確認してください。

（注）1　**支払を完了すると，学籍関連情報の修正はできません。**必ず支払前に入力した学籍関連情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。
2　銀行窓口での支払はできません。
3　コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
4　クレジットカード及びネットバンキングの名義は，学生氏名と同一である必要はありません。
5　領収書が必要な場合には，「コンビニエンスストア」を選択し，コンビニエンスストアが発行する領収書を利用してください。ただし，入学料等の支払金額の合計額が 30 万円以上の場合，コンビニエンスストア決済は利用できません。
6　**入学手続完了後は，いかなる理由があっても入学料は返還しません**（入学期日前に入学辞退を申し出た場合を含む）。

7　クレジットカードを含む全ての納入で，入学料の他にサービス利用料（550円～8,500円）が別途必要（本人負担）です。
8　入学料の減免又は徴収猶予を申請する者は，入学手続期間内に入学料を納入しないでください（減免又は徴収猶予の結果通知後に納入してください）。

2. 入学料徴収猶予

修学支援新制度の支援要件に該当しない私費外国人留学生でも，入学料徴収を猶予する制度があります。詳細は，後日公表する入学手続要項にて確認してください。

3. 授業料の納入

授業料
前期（第1・2クォーター）分　267,900円（予定）
後期（第3・4クォーター）分　267,900円（予定）
（注）上記の金額は予定額であり，入学時又は在学中に授業料を改定した場合には，改定後の新授業料を適用します。

授業料の納入方法は，預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」です。
「預金口座振替制度」の手続き方法については，令和9年4月頃に各学生へ通知します。
詳細は「授業料の預金口座振替について」Webサイトをご確認ください。
本学トップページ>教育・学生支援・学生活動>授業・履修　授業料納付>授業料の預金口座振替について
https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_keiri/keirika/jugyouryo/nounyunituite.html

4. 修学支援新制度等

修学支援新制度（以下「新制度」という。）とは，「日本学生支援機構による給付奨学金（返還不要）」及び「大学による入学料・授業料減免」がセットになった国の経済支援制度です。

日本学生支援機構の給付奨学金に申込み，採用されると，採用された支援区分に応じて日本学生支援機構が給付奨学金を支給するとともに，大学が入学料・授業料を減免します。支援区分は，家計基準に基づき日本学生支援機構が決定しますが，「多子世帯」の場合，所得制限なく入学料及び授業料が全額免除となります。申し込み方法等は，「S-5　奨学金」を参照してください。

新制度のほか，外国人留学生等，新制度の対象とならない方を対象とした本学独自の入学料・授業料減免制度もあります。

修学支援新制度に関する詳細は下記URLを確認してください。

金沢大学修学支援新制度Webサイト
本学トップページ＞教育・学生支援・学生活動＞経済的支援・各種奨学金＞
修学支援新制度（学士課程学生対象）
https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/school_support

5. 奨学金

本学が取り扱う奨学金には，日本学生支援機構，地方公共団体及び民間育英団体によるものがあります。いずれも学業成績が優秀で経済的理由により学資支弁の困難な学生を主な対象としています。それぞれ，給付奨学金（返還不要）と貸与奨学金があります。

日本学生支援機構の奨学金には，高校等在学中に，「予約採用」として申し込む方法，大学等入学後に「在学採用」として申し込む方法，家計が急変した際に申し込む方法があります。「予約採用」及び「在学採用」には，募集期間の指定があります。

地方公共団体及び民間育英団体の奨学金には，学生が各自直接申し込むものだけでなく，学内選考の上，決定するものもあります。

各種奨学金に関する詳細は下記URLを確認してください。

本学トップページ＞教育・学生支援・学生活動＞経済的支援・各種奨学金＞奨学金・各種給付・貸付等
https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/scholarship

（1）日本学生支援機構の給付型奨学金

上記の「4. 修学支援新制度等」を確認してください。

（2）日本学生支援機構の貸与型奨学金

以下の日本学生支援機構 Web サイトに「奨学金案内ダイジェスト」，「貸与奨学金案内」が掲載されていますので，奨学金の種類，対象要件や支給額等，詳細を確認してください。

ホーム＞奨学金＞申込みに関する手続き＞進学後に申し込む（在学採用）＞
在学採用の申込みのてびき（奨学金案内）＞
大学・短大・専修学校（専門課程）・高等専門学校に在学中の方（通信教育課程を含む）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/daigaku_etc.html

(3) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学に募集案内のあった奨学金は本学 Web サイトでお知らせしますので，希望する場合は，入学後に本学 Web サイト等を確認し，案内に従って申し込んでください。

また，本学 Web サイト等でお知らせする奨学金以外にも，各種団体が直接，個人応募を受け付けている場合があります。

(4) 私費外国人留学生の奨学金

私費外国人留学生が申請できる外部団体による奨学金は，以下の２種類あります。

① 金沢大学の推薦が必要なもの

大学の推薦が必要な奨学金には，日本学生支援機構の留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費　月額4.8万円）や小林財団（月額15万円）の奨学金等があり，入学後に応募を受け付け，学内選考の上，推薦する候補者を決めます。

（注）奨学金の金額は，令和8（2026）年7月1日現在の実績（学域在学者対象分のみ）

② 直接本人が応募できるもの

大学を通さず，直接応募できる奨学金を似鳥国際奨学財団等さまざまな財団が公募しています。各財団のWebサイトを確認してください。

詳細は，本学Webサイトを確認してください。

本学トップページ＞国際交流・留学＞金沢大学へ留学したい＞
外国人留学生支援サイト＞授業料等・経済的支援＞奨学金
https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/

6. 融合学域入試成績優秀者修学支援制度

融合学域入学者選抜試験において，優秀な成績で合格した社会人及び外国人留学生の修学を経済的に支援する制度です。

（1）社会人修学支援

社会人選抜で融合学域のいずれかの学類に合格した社会人は，選考の上，入学料・授業料を全額免除します。
本制度の詳細は，本学Webサイトを確認してください。

本学トップページ＞学域・学類・大学院＞融合学域＞
各学類＞入試情報＞入試成績優秀者修学支援制度
https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/yugo/yugonyusi

（2）イノベーションプログラム外国人留学生修学支援

融合学域全学類に設置している「文理医融合と数理・データサイエンスによるイノベーション共創人材養成プログラム」の履修を希望する私費外国人留学生には，選考の上，入学料・授業料の全額を免除します。（募集人員：4名程度）。
本制度の詳細は，本学Webサイトを確認してください。

本学トップページ＞学域・学類・大学院＞融合学域＞
各学類＞入試情報＞私費外国人留学生入試＞
「文理医融合と数理・データサイエンスによるイノベーション共創人材養成プログラム」
私費外国人留学生修学支援
https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/yugo/yugonyusi

7. 本学が加入を義務付けている学生保険

本学では，学生生活における事故に備え，**学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責）**（外国人留学生は，学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総））**への加入を義務付けています。**いずれの保険も，全国の大学・短期大学の学生を対象とし，公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。未加入の場合，課外活動，教育実習，インターンシップ等を許可しないことがあります。保険料及び納付方法等の詳細は，入学手続要項を確認してください。

学 研 災：国内外において，①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故，②通学中，学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠責：国内外において，正課，学校行事，課外活動又はその往復において，他人にケガを負わせた場合，他人の財物を損壊した場合等により，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対し保険金が支払われます。**本学では，全学生（留学生を除く）に対し，付帯賠責と学研災の両方への加入を義務付けています。**

外国人留学生は，付帯賠責への加入は不要ですが，代えてインバウンド付帯学総への加入が必須です。

なお，付帯賠責での「課外活動」は，大学がインターンシップ又はボランティア活動の実施を活動目的として承認した団体が行うインターンシップ又はボランティア活動のことをいいます。

■学生生活・個人情報

1. 学生留学生宿舎

本学には，国際交流を促進しグローバル人材を育成することを目的に，外国人留学生と日本人学生が１つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の学生寄宿舎「先魁」及び「北溟」があります。「先魁」は新入生の入学時入居は許可していません（空室状況に応じ，１年次後期から随時募集）。「北溟」は空室がある場合に限り，入居者を募集します。入居申請方法等詳細は，本学Webサイトを確認してください。

なお，私費外国人留学生は，国際部留学企画課又は各学類の留学生担当係へ入居を希望する旨を連絡してください。

本学トップページ>教育・学生支援・学生活動>キャンパスライフと生活支援>住居（学生寄宿舎）
https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/livelihood/residence

2. ノートパソコンの準備

本学のキャンパス内のほとんどの場所で無線LAN（KAINS-WiFi）が整備されており，KAINS-WiFiを用いてネットワークにアクセスすることが可能です。

また，本学のポータルサイト（アカンサスポータル）にログインすることで，履修登録，各授業の担当教員との連絡，e-learning教材を用いた自習，レポート提出，成績確認，更には健康診断結果の確認や進学・就職支援に至る学生生活全般に関する情報を取得することができます。

入学後に受講する全学必修科目「データサイエンス基礎Ａ・Ｂ」では，学類毎にノートパソコンを用いて，これらの操作やデータサイエンスの基礎を学びます。

必要な機能等の詳細は，入学手続要項にて確認してください。特別な事情がない限り，本学入学時までにノートパソコンを準備してください。

問合せ先
金沢大学学術メディア創成センター　〒920−1192　石川県金沢市角間町
E-mail　emi-jimu@ml.kanazawa-u.ac.jp

3. 保健管理センター

保健管理センターは学生の心身の健康の増進を図るため，以下のサービスを提供しています。

1．定期健康診断　　2．看護師（保健師），医師による健康相談
3．公認心理師による学生相談　　4．看護師（保健師）による応急手当

メールや電話での対応が可能です。
また，学生の心身のウェルネス向上をサポートする学生支援プログラムを実施しています。

4. 大学院進学の奨励

金沢大学では，大学院への進学を強く推奨し，多くの奨学金や学費減免制度を用意しているほか，進学検討時から修了まで伴走的にキャリア支援を行っています。大学院では，未来の多様な課題発見・解決力やアカデミックな研究力のほか，研究発表等を通して，より高いコミュニケーション力，プレゼンテーション力，発想力も伸ばすことができ，修了者は国内外で中核的リーダーとして活躍しています。

金沢大学学士課程・大学院構成図（令和９年度）

令和8年9月現在



5. 個人情報の保護

本学では，個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜，入学手続時及び入学後に取得するすべての個人情報は，次の業務等で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
(2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
(3) 入学後の本学ポータルサイト利用，学内LAN利用，図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
(4) 入学料免除，授業料免除，奨学金手続き等の修学支援に関わる業務
(5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
(6) 入試改革・教育改革に資する目的で個人が特定できない形で行う統計処理，調査研究業務及び学術会議等での発表
(7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
(8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント），同窓会及び基金活動への支援，本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
(9) 本人保護のための緊急対応に関する業務
(10) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお，国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って，入学手続等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

6. 申請書類等の請求及び照会先

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>請求及び照会先（平日 9：00～17：00）</th><th></th></tr>
<tr><td colspan="2">修学支援新制度（入学料・授業料減免）
入学料徴収猶予
本学独自の入学料・授業料免除　等</td><td>学務部学生支援課学生支援係（本部棟２階）
E-mail　stsien@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5164</td><td rowspan="7">〒920－1192
金沢市角間町</td></tr>
<tr><td rowspan="2">奨学金</td><td>私費外国人留学生以外</td><td>学務部学生支援課学生支援係（本部棟２階）
E-mail　stsien@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5170</td></tr>
<tr><td>私費外国人留学生</td><td>国際部留学企画課（本部棟３階）
E-mail　ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5237</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生留学生宿舎</td><td>学務部学生支援課学生相談係（本部棟２階）
E-mail　gakuryo@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5167</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生留学生宿舎　外国人留学生</td><td>国際部留学企画課（本部棟３階）
E-mail　intldorm@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5192</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生教育研究災害傷害保険（学研災）
学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責）</td><td>保健管理センター事務室（本部棟１階）
E-mail　soudan-h@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－5254</td></tr>
<tr><td colspan="2">外国人留学生向け
学研災付帯学生生活総合保険
（インバウンド付帯学総）</td><td>国際部留学企画課（本部棟３階）
E-mail　ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076－264－6184</td></tr>
</table>

7. 修学関係

入学後の授業及び学生生活に関する問合せは，下記へ行ってください。

電話での問合せは，平日（月～金曜日　※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）9：00～17：00の間で本人に限ります。

また，志願者本人がこの学生募集要項を熟読し，必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2">志望学域・学類</th><th colspan="2">問合せ先（平日 9：00～17：00）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">融合学域</td><td>先導学類</td><td rowspan="3">融合系事務部学生課教務係
E-mail　yugokyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-264-5922</td><td rowspan="15">〒920-1192
金沢市角間町</td></tr>
<tr><td>観光デザイン学類</td></tr>
<tr><td>スマート創成科学類</td></tr>
<tr><td rowspan="6">人間社会学域</td><td>人文学類</td><td rowspan="6">人間社会系事務部学生課教務・学生支援担当
E-mail　n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-264-5603</td></tr>
<tr><td>法学類</td></tr>
<tr><td>経済学類</td></tr>
<tr><td>学校教育学類</td></tr>
<tr><td>地域創造学類</td></tr>
<tr><td>国際学類</td></tr>
<tr><td rowspan="8">理工学域</td><td>数物科学類</td><td rowspan="8">理工系事務部学生課教務係
E-mail　s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-234-6831</td></tr>
<tr><td>物質化学類</td></tr>
<tr><td>機械工学類</td></tr>
<tr><td>フロンティア工学類</td></tr>
<tr><td>電子情報通信学類</td></tr>
<tr><td>地球社会基盤学類</td></tr>
<tr><td>生命理工学類</td></tr>
<tr><td rowspan="4">医薬保健学域</td><td>医学類</td><td>医薬保健系事務部学生課医学学務係
E-mail　t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-265-2125，2127</td><td>〒920-8640
金沢市宝町13-1</td></tr>
<tr><td>薬学類</td><td>医薬保健系事務部薬学・がん研支援課薬学学務係
E-mail　y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-234-6827，6828</td><td>〒920-1192
金沢市角間町</td></tr>
<tr><td>医薬科学類</td><td>医薬保健系事務部学生課医薬科学学務係
E-mail　iyaku-gaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-265-2809</td><td>〒920-8640
金沢市宝町13-1</td></tr>
<tr><td>保健学類</td><td>医薬保健系事務部保健学支援課保健学務係
E-mail　t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp
電　話　076-265-2515</td><td>〒920-0942
金沢市小立野5-11-80</td></tr>
</table>

■キャンパスマップ

1. 金沢大学所在地略図



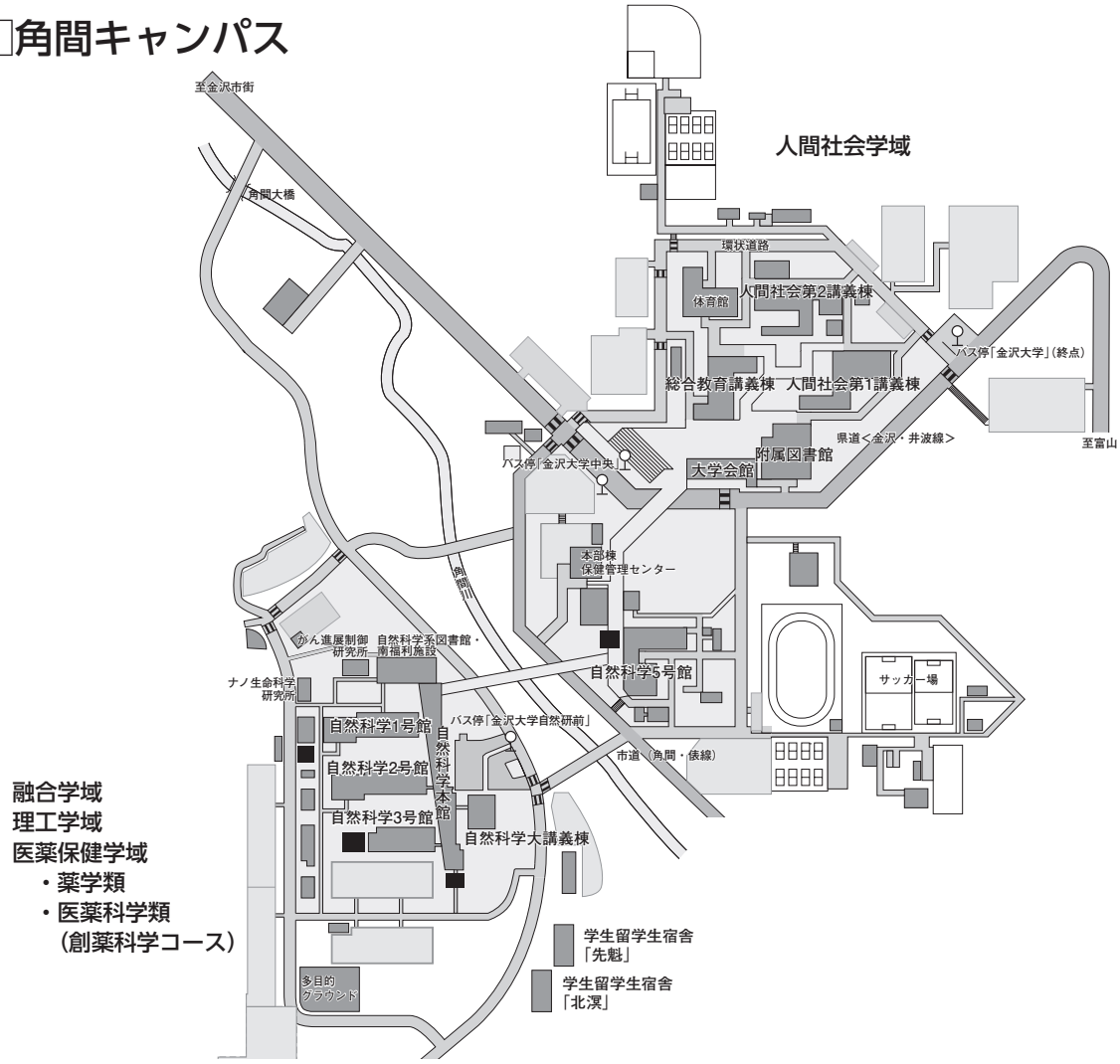
キャンパス名		学域等	交通機関（路線バス）
①	角間（かくま）	事務局（学務部） 融合学域 理工学域 医薬保健学域 （薬学類，医薬科学類創薬科学コース）	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 8番乗り場発 乗車：93，94，97金沢大学行き 下車：金沢大学自然研前 （JR金沢駅から約35分）
		人間社会学域	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 8番乗り場発 乗車：93，94，97金沢大学行き 下車：金沢大学（終点） （JR金沢駅から約40分）
②	宝町（たからまち）・鶴間（つるま）	医薬保健学域 （医学類，医薬科学類生命医科学コース，保健学類）	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 6番乗り場発 乗車：11 東部車庫・金沢学院大学・石川県立図書館行き， 12 湯涌・北陸大学行き（小立野経由） 下車：小立野（こだつの） 8番乗り場発 乗車：13 湯谷原・医王山行き， 14 太陽が丘ニュータウン行き（金商経由） 下車：小立野（こだつの） JR金沢駅金沢港口（西口）バスターミナルから北陸鉄道バス 5番乗り場発（香林坊経由） 乗車：10 東部車庫・金沢学院大学行き 下車：小立野（こだつの）（JR金沢駅から約20分）

（注）路線バスは2026年7月時点の情報です。乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で，利用してください。

本学（アクセス・キャンパスマップ）Webサイト
(https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/campus-guidance/access)

2. 金沢大学キャンパス配置図

①角間キャンパス



②宝町・鶴間キャンパス



＊医薬科学類は，各コースの主たる教育施設の位置を示しています。

金沢大学学務部入試課入学試験係

〒920-1192　金沢市角間町
TEL　076-264-5169
E-mail　boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp
金沢大学（入試情報・高大院接続）Webサイト　金沢大学トップページ＞入試情報・高大院接続
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission